

なごみの相談室

その5



最近、妻がもの忘れをするようになって心配です。

精神科専門医・精神保健指定医のなごみクリニック伊藤先生が、あなたやご家族の不調の改善に向けて、親身になつてお手伝いします。

加齢によるもの忘れと「認知症」は違う

「認知症」というと、「もの忘れ」を思い浮かべる人が多いと思いますが、加齢によるもの忘れと認知症は大きく異なります。

単なる加齢によるもの忘れでは、治療の必要はありません。

知っているはずの人や物の名前が思い出せないという例を取ってみると、加齢によるもの忘れでは、その人が知人だということは覚えていて名前が思い出せない状態ですが、それが認知症になると知人だということとも忘れてします。ほかには、自分が忘れや

すくなつたと自覚があり、忘れたことを「忘れていた」と認められるのが加齢によるもので、自分が忘れていたことに気付かず、作り話でつじつまを合わせようとしてつじつまを合わせようとすると、両者には多くの違いが見られます。

このような認知症の症状が現れたら、専門の治療が必要になります。

認知症は脳の異常により認知機能が著しく低下し、日常生活に支障をきたす状態のこと。進行してからの治療は難しいため、早期の通院が求められます。

具体的な症状を、本人と一緒に聞かせてください。



Profile

なごみクリニック

院長／伊藤 優(いとう たかし)

精神科専門医・精神保健指定医
神奈川県生まれ。東京医科大学医学部卒業。東京医科大学付属病院 メンタルヘルス科入局後、平成20年5月より医療法人社団愛陽会 三川病院に勤務。平成28年3月よりなごみクリニック開院。

次号は…
認知症の続き
について
お話しします